

KSKR

No. 318

2025
Feb.

2

<https://www.eonet.ne.jp/~asn/>

奈良県自閉症協会 NEWS

きずな
The Kizuna

発行人：

関西障害者定期刊行物協会

編集人：奈良県自閉症協会

支部長&事務局：河村舟二

〒639-1005

大和郡山市矢田山町 84-10

購読料1部 100円

会員は会費に含まれています。



第28回日本自閉症協会全国大会 ALL かながわ大会に参加して

2025年2月8日と9日に開催された第28回日本自閉症協会全国大会 ALL かながわ大会に参加してきました。8日は開会式と厚労省・文科省・こども家庭庁の行政説明のあと英国自閉症協会 NAS の最高経営責任者キャロライン・スティーブンスさんによる講演、自閉症支援のきのう、きょう、あした～NAS がめぞす「自閉症の人にとって生きやすい社会」とは～。本田秀夫氏の講演「ASD 診断大国ニッポン」における支援。がありました。9日は NAS 講演、自閉症への教育、成人向け事業の向上への取り組み。をキャロラインさんがされ、つづいて、内山登紀夫氏の講演「自閉症支援とニューロダイバーシティ運動～日英の共通点と相違点～」。があり、最後に地元の会員である山田正人氏の司会で、パネル・ディスカッションがありました。パネリストは、キャロライン・スティーブンス氏・内山登紀夫氏・本田秀夫氏で、テーマは日英対談、自閉症教育（個別教育）とインクルーシブ教育でした。内容が濃く、詳細をお伝えすることができませんが、それぞれ素晴らしい情報が詰まっておりました。日本では4月2日は世界自閉症啓発デーで発達障害啓発デーですが、英国では、

自閉症啓発月間とされたようです。日にちが長い分啓発の取り組みが深められ、効果も大きいとのことでした。話を聞いて、英国に比べ日本はすべてが遅れているというのではないことがわかりました。本田先生の講演テーマからもわかるように、自閉症の診断に関しては、日本のほうが検診体制が整っているようですし、学校選びや教育内容のトラブルや差別やいじめの問題は両国にも共通であり、親の問題意識も似ていることがわかりました。ただ、制度面や法制度が日本より整っており、国家がかける自閉症者支援の予算等は比べ物になりません。日本の自閉症支援はまだまだ理念だけで、国の重要視度が違います。英国自閉症協会（NAS）は「ムーンショット・ビジョン」というものを掲げており、内容は、自閉症者がより「生きやすい」社会を実現するための包括的な支援プログラムです。このビジョンは、以下のような目標を掲げています。

○自閉症者の権利擁護：自閉症者が社会で平等に扱われるよう、権利擁護活動を強化します。

○教育と訓練：自閉症者が適切な教育を受け、社会で自立できるようにするための教育プログラムや訓練を提供します。

○支援サービスの拡充：自閉症者とその家族が必要とする支援サービスを充実させ、生活の質を向上させます。

○研究と啓発：自閉症に関する研究を進め、社会全体の理解を深めるための啓発活動を行います。このビジョンは、英国自閉症協会が掲げる「自閉症者のために機能する社会」を実現するための取り組みの一環です。今回の大会で、特に盛り上がったのは、インクルーシブ教育についての日英の違いでした。私、もこのことに特に興味があったので、キャロラインさんに前もって質問書を英文で書いて渡しておきました。内容は次の2点です。

1. 日本もインクルーシブ教育を目指していますが、まだ分離教育が主流です。その理由として、自閉症児の多くは他の子どもと同じ授業内容を理解することが難しいことや、非障害児の授業を妨げる可能性、いじめのリスクが挙げられます。多くの親は、自閉症児が隔離された環境で専門的な教育支援を受けるべきだと考え、インクルーシブ教育に反対しています。英国でもこのような考え方は存在するのでしょうか？さらに、英国の個別支援計画（IEP）を通じて、通常の学校での自閉症児の

授業の具体的な状況について教えてください。

2. インクルーシブ教育の目的は次のことであると思います：

1 相互理解と共生

2 偏見・差別のない包摂的社会をつくる

3 個々のニーズに応じた支援

4 社会参加のスキルの獲得しかし、日本のインクルーシブ教育が進まないのは以下の理由によります：

1 インクルーシブ教育の不徹底

2 教育環境の整備不足

3 教員の専門性不足。日本と英国では文化や社会制度の違いがあります。日本は家族中心主義で、個人主義ではありません。自閉症児は通常教育で学ぶのではなく、日本型の特別支援教育システムで学びます。英国のように国家レベルでの支援が提供されるわけではなく、日本では地域コミュニティやNPOによる支援が

主流です。日本のこのような状況を打破するためにはどうしたら良いと思いますか？あなたのご意見をお聞かせください。というものでした。全てに触れて回答いただくことはできませんでしたが、パネル・ディスカッションでこの内容に沿った討論がなされていました。とくに、最後に内山登紀夫先生が、日本の特徴を示す、短い動画を提示し、自閉症児者には西欧的な個人主義も必要ではないのかと点で、考えさせられる事がありました。それは、youtube 動画などでよく紹介される、外国の方がよく驚く自国では見られない日本の素晴らしさに関する事で、小さい子どもたちが、集団登校、給食配膳、掃除、など当たり前のよう、みんなと同じようにする。個人より集団に合わせることを重視するなどの場面でした。ただ、内山先生が提起された動画内容で私が思ったの

は、なるほど、道徳や文化や歴史の違いで、価値観が違い、これが現状の日本における自閉症児の生きにくさの根底ではあるかもしれないが、これらのことはすなわち、日本人のアイデンティティであり、全てが悪ではなく、全部、変えてしまえ、ではなく、日本は日本の文化と伝統と価値観を守りつつも、自閉症児者の特性に合理的配慮する合理的配慮の方法を模索するべきではないかと思いました。（河村）

訃報

トモニ療育センターの河島淳子先生が2月10日に急逝されました。画家石村嘉成さんを育てたとして、河島淳子先生は世界的に有名です。「青いライオン」という映画が上映中です。心から御冥福をお祈り申し上げます。（河村）

ND（奈良県障害者フォーラム）さんからの情報です。

1月28日、ABC朝日放送のnewsおかえり特集「【人手不足が深刻】毎年100人前後が退職障害者支える社会福祉法人 追われる求人業務」が放送されました。それがYouTubeで視聴できるようになりました。

大阪府吹田市の社会福祉法人さつき福祉会の事業所におけるリアルな現状が、数字も含めてリアルに紹介されており、施設のかかえる困難さが、一般の視聴者にとってもわかりやすい内容になっています。

■ ABC朝日放送「《人手不足が深刻》毎年100人前後

が退職障害者支える社会福祉法人追われる求人業務【newsおかえり特集】」

⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=8Jn1VxQBDqM>
ぜひたくさんの方に視聴いただければと思います。



日本自閉症協会事務局からのメールです。

加盟団体代表者様 加盟団体事務局ご担当者様

お世話になっております。日本自閉症協会事務局の樋口でございます。2月8日・9日に開催されましたALLかながわ大会へのご参加、皆様有難うございました。当日は、新幹線が雪の為大幅に遅れるという大変な状況の中、多くの皆様にご参加いただきましたことに、感謝申し上げます。

ALLかながわの実行委員会の皆さまの頑張り、加盟団体の皆様のご協力、2日間で延べ1400人を超える多くの方々にご参加いただき、盛会の内に終えることができました。ギャラリーも400人を超える方が「英国自閉症協会」「日本自閉症協会」「神奈川県」の掲示物を熱心にみてくださったようです。本当にありがとうございました。

一般社団法人 日本自閉症協会 事務局長 樋口 美津子

日本自閉症協会のメール情報です。 （河村） 社会保障審議会障害者部会（第145回）が1月30日に開催されました。その資料です。 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_50008.html 多量ですが、関心のあるところをご覧ください。 	B型は今年の10月から、A型は令和9年4月以降です。 参考資料2： サービスごとの一人当たりの公的費用が分かります。 ***** 社会保障審議会障害者部会（第145回）・こども家庭審議会障害児支援部会（第10回）合同会議の資料について 令和7年1月30日（木） 14:00～16:00 於：ベルサール飯田橋駅前 議事 （1）障害保健福祉施策の動向について （2）その他 資料 議事次第【PDF形式：82KB】 資料1 障害福祉分野における運営指導・監査の強化（案）について【PDF形式：4.1MB】 資料2 障害福祉分野における手続	負担の軽減（標準様式等の使用の基本原則化等）について【PDF形式：2.9MB】 資料3 障害福祉サービス事業者等の経営情報の見える化について【PDF形式：2.4MB】 資料4 新たな地域医療構想における精神医療の位置付けについて【PDF形式：1.9MB】 資料5 「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会について【PDF形式：770KB】 資料6 就労選択支援について【PDF形式：5.8MB】 資料7 障害者虐待事例への対応状況調査結果等について【PDF形式：1.5MB】 参考資料1 障害者就労に係る最近の動向について【PDF形式：649KB】 参考資料2 障害福祉サービス等の最近の動向について【PDF形式：652KB】
たとえば以下の資料は私たちにも関係が深いと思います。 資料6： 就労選択支援・・・新たにB型やA形を利用する際には就労選択支援を原則利用することになっている。 参考資料3 処遇改善加算等について【PDF形式：2.9MB】 参考資料4 令和5年度「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果報告書（令和6年12月公表）【PDF形式：828KB】 参考資料5 株式会社恵への対応状況について【PDF形式：129KB】 参考資料6 令和7年度厚生労働省障害保健福祉部予算案の概要【PDF形式：311KB】 参考資料7 令和7年度こども家庭庁支援局障害児支援課予算案の概要【PDF形式：216KB】 参考資料8 令和6年の地方からの提案等に関する対応方針について【PDF形式：351KB】 櫻木委員提出資料【PDF形式：639KB】 PDFファイルを見るためには、	Adobe Readerというソフトが必要です。Adobe Readerは無料で配布されています。 こども家庭庁支援局障害児支援課より令和7年度障害児支援関係予算案の概要について連絡がありました。 平素より大変お世話になっております。こども家庭庁支援局障害児支援課です。令和7年度障害児支援関係予算案の概要について、各都道府県・指定都市・中核市あて連絡しております。貴会内におかれましても、内容についてご確認いただけますと幸いです。 ■障害児支援関係に係る情報掲載場所（こども家庭庁ホームページ） https://www.cfa.go.jp/policies/shougaijishien 令和7年度障害児支援関係予算案の概要【PDF】 https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/7612b45c-aad3-4503-9026-12d01277b181/d109f5cf/20250106_policies_shougaijishien_10.pdf ■参考：令和7年度こども家庭庁関連予算情報 https://www.cfa.go.jp/policies/budget 以上、どうぞよろしくお願いいたします。 	

地域の事業所さんと考える
Vol.2

～なにわの里・前田理事長のおはなしを伺って～

前回の「社会福祉法人かざぐるま」の小長谷様のお話に続き、長年にわたる自閉症の利用者支援について、また家族に自閉症を持つ私たちに密接に関わる福祉を取り巻く現状について、穏かなにかつ熱く語っていただきました。お送りいただいた配布資料に目を通すだけでも、個々に重く受け止め感じ入るものがあつたかと思ひます。お話を伺い、一番に私の思つたことは「現状維持をするにも、何もせず現状のままでは維持できなくなる可能性が高い」ということ。

厳しい職場環境のイメージがあつた福祉業界だったが、働き方改革、賃金の見直し、と少しでも高額報酬

や厚生福利の優遇を提示しなければ人材が集まらない社会の動きは止まらない。結果、事業運営そのものや、何より大切にしてほしい利用者である私たちの子どもたちへの支援環境に、資金も時間を回せなくなつてくるのでは…。現状よりもさらに支援を望むには、保護者としてどんなことが不可欠なのだろう。

かつて福祉事業所ではサービス残業も度外視で困難ケースの利用者支援にあたり、時間も労力も失敗も重ねて、ようやく個々の利用者の特徴を理解し支援に結びつけ、支援者としても事業所としても成長してきたが、さて、この国の進める福祉施策の先には、支援を提供する側・受ける側双方に、どのような「人としてあたりまえの生活」が保証されるのだろうか。

突然、通所先の事業者が閉鎖した、突然、グループホームが利用停止

になった、入所受け入れは当面できないと言われた最近も耳にした現状維持が突然崩れた嘆きです。私自身も経験した、大きな壁が立ちはだかるのが見えた日。「普通に過ごすこと」が当たり前では無いことを頭において、社会の動き、行政の動きを見て、考え、アクションをする。当会のような非営利団体から声をあげていく。あきらめない、未来を生きる自分と子と仲間のために。

最後の質疑応答で、「障がい者虐待防止に有効ななにわの里の対応を伺いたい」との質問にお一人お一人を正しく理解し、人として関わる中で支援すること」「その関りでの支援の中で、これまで虐待事例を招いたことは無い」と即答されました。私は、理事長の利用者および職場の支援者への「敬意」を感じ、未来への不安のなかに明るい光が見えた。(Y)

事務局より

※皆さまより、当会でざつぱらんに自閉症支援についてお話いただける地域の事業所さんや福祉にかかわる施設のご紹介やご希望を募ります。当会メール (kawafune@ares.eonet.ne.jp) や奈良県自閉症協会 FaceBook へお寄せください。



人に本をお薦めして良かったなあという経験はないので気は引けますが、この本はこの会に関わる方々にお薦めしたくて投稿します。立ち読みでもいい、ちょっと覗いてみてください。「ああ！」ってなる人は多いと思います。(Y)

Tweet
障害特性に適した環境調整や支援が行われない場合に強度行動障害のある人があわす行動やこだわりは様々であり、支援者の対応力が重要である。本書では24人の実践から、本人との向き合い方、権利擁護の視点、チーム支援などのヒントやアイデアをわかりやすく解説する。

エピソード2 生活全般のかかわり（支援のアイデア）
エピソード3 コミュニケーションを通じた関係づくり（表出性コミュニケーション）
ほか6エピソード
第3章 支援が前向きになる6つの視点
1 強度行動障害のある人の魅力
2 一人の大切な人として一行動障害と虐待防止と権利擁護
3 本人の立場に立ったかかわり—関係機関との連携
ほか3テーマ

目次

第1章 強度行動障害のある人と支援のこと
第2章 ヒント・アイデアが見つかる9のエピソード

エピソード1 この仕事を通して感じたこと・やりがい（強度行動障害の理解）

強度行動障害のある人を支えるヒントとアイデア本人の「困った!」、支援者の「どうしよう・・・」を軽くする
西田武志、福島龍三郎＝編著 2,420円（税込）

川西町LD研究会 主催
～発達障がい理解講座～

『障害のある子どもたちを、
こころとからだの主人公に』

講師 千住 真理子 先生



日時：3月22日(土)

受付 9:45～

開演 10:00～

場所：川西文化会館

2F サークル室ABC

磯城郡川西町結崎28番地の1

(最寄り駅・近鉄橿原線結崎駅)

参加費：無料

定員：30名 3月1日(土)より受付開始
(定員に達し次第締め切ります)

～千住 真理子 先生 プロフィール～

堺市の中学校で長年、音楽・障害児学級担任、支援学校にも勤務。障害のある青年の性のセミナー、支援者・保護者対象の性のセミナー、障害のある中学生の性のセミナーに取り組む。退職後は高等部卒業後の学びの場「ぼぼろスクエア」の立ち上げから関わり、性教育と進路の授業を担当する。

著書『生活をゆたかにする性教育』(クリエイツかもがわ・刊)など

申し込み専用メール 3月1日(土)より受付

: kawanisi-ld@iris.eonet.ne.jp



氏名 住所

連絡先

(電話番号を明記)

お問い合わせ

川西町LD研究会 事務局 松村

TEL 0745-43-0257

FAX 0745-43-0119



後援：川西町教育委員会
三宅町教育委員会

川西町社会福祉協議会
田原本町教育委員会

奈良県高機能自閉症児者の会アスカ設立20周年記念講演会

我々は、自閉スペクトラム症（以下、ASD）者に対する個人精神療法の限界を感じ、「奈良県高機能自閉症児者の会アスカ」を立ち上げ、ASD者の自尊感情の向上、より適切な自己理解・他者理解およびアイデンティティ形成のためのグループ余暇活動支援「アスカ流星群：友達作りの心理学～スペクトラムで行こう！」を継続してきて早 20 年が過ぎました。当地奈良県および近隣府県では、多数派と言われる「定型発達」者社会への適応のための「能力」支援にのみ注力されており、本来ですと発達特性を有する自身をよりポジティブに理解・受容し、その「自分らしさ」を表現し他者によって受容されないと、思春期・青年期以降のアイデンティティ形成は為し得ないにもかかわらず、そのアイデンティティ形成に失敗し、自身の特性を押し殺して「過剰適応（カモフラージュ）」した末に起こる「破綻」を契機に二次障害を呈するケースが多発している現状があります。そこで、発達障害者余暇活動支援の最先端を牽引する信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 附属病院子どものこころ診療部 教授・診療部長 本田 秀夫 先生を招聘し基調講演を賜り、20年以上にわたり、継続されてきたグループ余暇活動支援「アスカ流星群：友達作りの心理学～スペクトラムで行こう！」における実践報告をご評価いただくことで、県内外の発達障害児者支援体制拡充の一助とすることを目的といたします。

奈良県高機能自閉症児・者の会「アスカ」スーパーバイザー
関西福祉科学大学 教授（公認心理師・臨床心理士） 櫻井 秀雄

プログラム

- | | | |
|-------|-------------|--|
| | 13:00～13:10 | 開会挨拶 |
| ■ 第一部 | 13:10～14:50 | 本田 秀夫 先生によるご講演(100分) |
| | 14:50～15:10 | 質疑応答(20分) |
| | 15:10～15:20 | 休憩(10分) |
| ■ 第二部 | 15:20～16:20 | 実践報告：奈良県高機能自閉症児者の会アスカ余暇活動支援
「友達作りの心理学～スペクトラムで行こう！」
関西福祉科学大学 櫻井 秀雄(60分) |
| | 16:20～17:00 | パネルディスカッション～本田 秀夫 先生による総評 |

会場へのアクセス



- 近鉄大阪線「河内国分(関西福祉科学大学前)」(急行停車)駅下車 徒歩約12分
- 近鉄大阪線「大阪教育大前」(準急停車)駅下車 徒歩約10分
- ※ ご来場は公共交通機関のご利用をお願い致します。

玉手山学園／関西福祉科学大学キャンパスマップ



JD 2024年度特別セミナー



なぜ、現行の年金・雇用制度では自立できないのか!

障害者の所得保障のあり方を問う

午前 10:30 ~

第1部 開会行事・基調講演

障害年金法研究会・提言書
づくりを通して、障害者の
所得保障のあり方を考える!



藤岡 毅さん(弁護士)



午後 13:00 ~

第2部 特別報告 13:00 ~

優生保護法裁判「勝利判決」を受けて
義妹の名誉・人権の回復を求めて!

佐藤 路子さん(優生保護法国家賠償請求訴訟原告義妹)

第3部 特別シンポジウム 13:20 ~

所得保障とは何か!
現行の法制度では自立できません!



コーディネーター／増田一世JD常務理事
コメンテーター／藤岡 毅弁護士・斎藤なを子きょうさん理事長

- ①精神障害/佐藤晃一さん(やどかりの里,生活保護基準引下げ違憲訴訟 原告)
- ②難病/西田えみ子さん(難病をもつ人の地域自立生活を確立する会)
- ③内部障害/下堂前享さん(全国心臓病の子どもを守る会)
- ④無年金/磯野博さん(無年金障害者の会)

参加費 3,000 円、学生または障害がある方は 1,500 円

2025年

3月8日土

10:30~16:00

zoom オンライン
開催

定員 500 名

※見逃し配信あり。(ただし、手話通訳なし)

障害者の所得保障問題は、「家族依存型からの脱却」とともに、JDの最重点課題として位置づけ、とりくみを進めてきました。実はこの2つは、表裏一体的な課題でもあり、家族からの自立をめざす上で決定的に重要な課題が所得保障でもあるのです。現行の年金制度と雇用制度等が障害者の所得を保障しうるものになっているのかの問いかけと、障害者の生活実態と切実な願いに基づく政策提言が今日ほど求められている時はありません。

この間、この分野の運動をふりかえると、きびしい認定(基準)による無年金、等級引き下げ問題、あるいは働く意欲があっても雇用されない問題に対する運動が繰り返し展開されてきています。残念ながら「これで自立した生活ができるのか」など、所得保障の本質に迫る運動は引き続きの課題になっています。

今回の特別セミナーでは、現在開会中の通常国会に提案される年金法改正の動向と障害年金のゆくえとともに、本来的な障害者の所得保障のあり方を考え、政策化していくスタートとなる企画にしたいと考えています。

■手話通訳・文字通訳・点字資料あり

お申込みフォーム

<https://forms.gle/cuyLBxUSkzAQYjC4A>

※お申込みの詳細は、次頁(裏面)をご覧ください。

QRコード



JD

主催 認定NPO法人 日本障害者協議会(JD)

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1 Eメール office@jdnet.gr.jp

TEL 03-5287-2346 FAX 03-5287-2347 ホームページ <https://www.jdnet.gr.jp/>



J D 2 0 2 4 年度特別セミナー（2025 年 3 月 8 日開催）お申込み

FAX 返信先 **03-5287-2347**（J D 事務局）

お申込み用紙にご記入の上、F A X または E メールにてお送りください。

※ウェブ受付をしています。QR コードもご利用ください。

<https://forms.gle/cuyLBxUSkzAQYjC4A>



QR コード

■参加費（資料代）：3 0 0 0 円、学生または障害がある方は 1 5 0 0 円

以下の口座に 2 月 2 8 日（金）までにご送金ください（遅れる場合はご一報ください）。

- ・送金手数料はご負担をお願いします。
- ・ご欠席時の払戻しは致しませんのでご了承ください。

◎郵便振替口座 00120-2-70876

◎ゆうちょ銀行（当座）〇一九（ゼロイチキュウ）店 70876

※上記 2 つの口座名義はいずれも 日本障害者協議会

◎巢鴨信用金庫 早稲田支店（普）3116627

口座名義 トクヒ）ニホンショウガイシャキョウギカイ

※参加費を事前納入していただいた方に資料・URL を送信します。

※見逃し配信あり

（ただし、手話通訳なし）

----- お申込み用紙 -----

申込日 月 日

一般・障害者・学生

※参加費に関わるため○で囲んでください。

お名前（ふりがな）

所属団体（ある場合）

メールアドレス

住所〒 -

電話番号（携帯電話）

■障害の理由で必要な方は○で囲んでください。

手話通訳 ・ 文字通訳 ・ 点字資料(要約版) ・ テキストデータ

----- お申込み・お問合せ -----

認定 NPO 法人 日本障害者協議会（J D）

〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-22-1 Eメール office@jdnet.gr.jp

TEL03-5287-2346 FAX03-5287-2347

日本発達心理学会・社会貢献委員会・オンライン講座（公開シンポジウム）

日本のインクルーシブ教育に発達心理学はどう貢献するか？—発達の多様性を重視した科学をめざして—

日本発達心理学会では、研究成果を還元するため、一般公開のオンライン講座（シンポジウム）を行っています。今回は発達や学習の多様性という観点からインクルージョンについて考えていきます。インクルーシブ保育、インクルーシブ教育、発達障害などに関心のある皆さまのご参加をお待ちしています。

参加申し込み



日 時： 2025 年 3 月 22 日（土）13:00～16:00

方 法： オンライン開催（ZOOM ウェビナー）

参加費： 無料 定 員 先着 500 名

●赤木和重（神戸大学）：なぜ，通常学級は非包摂的なのだろうか：学級規範の視点から

●米田英嗣（青山学院大学）：自閉スペクトラム症の発達と学習からみる発達の多様性

●吉川和幸（国立特別支援教育総合研究所）：子どもの多様な学びの姿を捉えるために：「学びの物語」によるアプローチ

指定討論： 長澤真史（関東学院大学）
 佐竹真次（山形県立保健医療大学）
企画趣旨・司会：長崎 勤（実践女子大学）

プログラム詳細



主催：一般社団法人 日本発達心理学会・社会貢献委員会

令和7年2月

世界自閉症啓発デー2025公式LINEスタンプイラスト 募集要項

世界自閉症啓発デー日本実行委員会

委員長 市川 宏伸

1 世界自閉症啓発デー2025LINEスタンプについて

世界自閉症啓発デー日本実行委員会では、毎年4月の世界自閉症啓発デーや発達障害啓発週間に、国民の皆様へ自閉症など発達障害について理解啓発を図るため、啓発イベントや公式サイトでの作品展等の開催、SNS等での情報発信を行っております。今回啓発の一環として、公式LINEスタンプの作成し、発達障害のある方々が多彩な才能を発揮する機会とするとともに、発達障害の理解啓発を推進することを目的としています。

LINEスタンプに使用するイラストは日本実行委員会を構成する関係団体に所属または関係する作者から広く募集をします。応募が多数の場合、厳正な審査の上、スタンプに使用するイラストを採用いたします。

2 応募要領

LINEスタンプのイラストへの応募については、以下の要領をお願いします。

- (1) 募集対象は、日本実行委員会を構成する関係団体に所属または関係する作者（個人、共同制作グループ）による作品に限ります。
- (2) 応募いただける作品は、自閉症など発達障害のある個人が制作した作品、または複数名による合作によるオリジナル作品に限ります
- (3) 作品内容に関する著作権及び肖像権に関わる諸問題は、作者の責任で対応するものとし、実行委員会は一切責任を負いません。他者の著作物を許諾無く模写したもの等、第三者の権利の侵害にあたるものについては応募いただけません。
また、第三者の権利を侵害する恐れがあると実行委員会で判断したものについては、当該作品の応募を受け付けられない場合があります。
- (4) 応募は、作品の実物ではなく、作品のデータ（以下、「作品データ」という）と、必要な事項（作者名、所属名、等）を記入した応募用紙を、関係される団体の広報委員等へ提出してください。なお、日本実行委員会作品受付窓口への作者からの直接のご応募は、原則受け付けられませんのでご注意ください。
- (5) 審査方法については、世界自閉症啓発デー2025日本実行委員会で審査します。
なお審査過程に関する問い合わせについては一切応じられません。
- (6) 応募者から作品データ等を受領した団体広報委員等は、下記の応募期限までに作品受付窓口へ提出してください。また、応募者からの問い合わせについても広報委員等で取りまとめ、窓口までお問い合わせください。

応募期限 3月7日（金）

- (7) LINEスタンプの販売収益は、「世界自閉症啓発デー公式HP」の運営に当てさせていただきます。
そのことをご承諾の上、応募をお願いいたします。



3 LINEスタンプの作成について

◆LINEスタンプの規格について

スタンプ画像の大きさは、横370px × 縦320px（最大）です。

画像の解像度は72dpi以上、カラーモードはRGBにしてください。

画像のサイズは、1個あたり1MB以下にしてください。

できるだけ正方形に近い縦横比の枠に収まるよう作成をお願いします。

（スタンプ作成参照：[ガイドライン - LINE Creators Market](#)）

◆LINEスタンプには、下記の文言をつける予定です。イラスト作成の際の参考にしてください。

文言ごとに違う作者のイラストにする予定ため、すべての文言に付けるイラストを作成していただく必要はありません。イラストは1点からでも応募できます。（複数作成し応募いただくことも可能です）

文言に合わせたイラストの場合、どの文言を使うかも併せてイラストに書き入れてください。

※文言に対応したイラストを応募したからといって、優先的に採用されるわけではありません。

○日常の言葉

- ・おはよう
- ・おやすみ
- ・OK！
- ・NO！
- ・うれしい

・ ショック

- ・ 楽しい
- ・ ありがとう
- ・ お疲れ様です
- ・ 疲れました

○啓発デーに関すること

- ・ 世界自閉症啓発デー（ロゴ）
- ・ ブルーライトアップ
- ・ We belong!
- ・ みんなたいせつ
- ・ つながるえがお

○発達障害に関すること

- ・ 具体的にお願いします
- ・ スケジュールを教えてください
- ・ 集中しています
- ・ 休憩します
- ・ 一つずつお願いします

4 作品データの取り扱い等について

作品写真データの取り扱い等については以下の通りです。ご確認ください。

◆ 作品データのファイル形式は、JPEG（推奨）、BMP、PNG 等としてください。**PDF は不可とします。**

◆ 作品データの解像度は72dpi以上で、できるだけ高い設定のデータをお送りください。応募時点で、作品写真データの所有権は、世界自閉症啓発デー2025 実行委員会の主催団体である一般社団法人日本自閉症協会に譲渡されるものとします。

◆ 作品データや応募用紙の記入内容は、以下の用途で使します。

- ・ 公式LINEスタンプの作成及び販売
- ・ 公式X（旧twitter）、Facebook等のSNSへの投稿（※）

※ 世界自閉症啓発デー日本実行委員会は、こどもまんなか応援サポーターに参加しています。SNSでのLINEスタンプ紹介の記事にはハッシュタグ（#こどもまんなかやってみた）を付けて投稿します。ハッシュタグ付き投稿を通じて、こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会の実現を応援しています。詳しくは、[こども家庭庁HP「こどもまんなか応援サポーターとは」](#)をご覧ください。

また、上に記載の無い用途について、世界自閉症啓発デーの周知や発達障害の理解啓発の推進等、公式LINEスタンプの目的に合致したものとして日本実行委員会が認めた場合に限り、使用できるものとします。その場合、実行委員会は必要に応じて使用の可否や使用方法等について作者の意向を確認するものとします。

- ・ ポスターやリーフレットへの掲載
- ・ 日本自閉症協会広報紙「いとしご」への掲載
- ・ 企業や諸団体などが行う世界自閉症啓発デーに関連した啓発イベント等で作品紹介 など

- ◆ 提出いただいた作品データ等は返却いたしません。
- ◆ ウェブページに掲載された作品の色調は、実物のものと異なる場合がありますのでご容赦ください。
- ◆ 作品が自閉症や発達障害の啓発という趣旨に沿わない場合、実行委員会において判断し、掲載しない場合があります。
- ◆ 他のLINEスタンプやイラストの展示等にて、すでに出展した作品の応募につきましては、出展した作品展先に著作権等の取り扱いを確認のうえ、応募してください。

5 作品受付窓口

応募者より受領した作品データは、各団体の広報委員等が取りまとめたうえ、**CD-R等の記録媒体の郵送、または電子メール**で送付ください。また、ファイル名に**作者名を必ず記載**して下さい。

（例：lineスタンプ 作者▲▲.jpgなど）。

電子メールによる送付の場合：標題を「WAAD2025LINEスタンプのデータ送信（団体名）」としてください
独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園（担当：高橋）

E-mail：takahashi-a@nozomi.go.jp

郵送の場合：封書の表書きに「WAAD2025 LINEスタンプ 作品データ」在中と朱書きしてください。

宛先：〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町2120-2

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 研究部研究課研究係主任 高橋 淳 宛

6 LINEスタンプお問い合わせ窓口

LINEスタンプの応募受付等について、ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園（担当：高橋）

日本自閉症協会事務局からのメールです。

（河村）

加盟団体代表者様

加盟団体事務局ご担当者様

お世話になっております。日本自閉症協会事務局の樋口でございます。

2月8日・9日に開催されましたALLかながわ大会へのご参加、皆様有難うございました。

当日は、新幹線が雪の為大幅に遅れるという大変な状況の中、多くの皆様にご参加いただきましたことに、感謝申し上げます。

ALLかながわの実行委員会の皆さまの頑張りと、

加盟団体の皆様のご協力で2日間で延べ1400人を超える多くの方々にご参加いただき、盛会の内に終わることができました。

ギャラリーも400人を超える方が「英国自閉症協会」「日本自閉症協会」「神奈川県」の掲示物を熱心にみてくださったようです。本当にありがとうございました。

一般社団法人日本自閉症協会 事務局長 樋口美津子

発行人：関西障害者定期刊行物協会

住 所：〒543-0015

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

編集人：奈良県自閉症協会

定 価：100円

